

# 尾道市職員採用候補者試験(前期)の延期

6月中旬に実施を予定していた「尾道市職員採用候補者試験(前期)」は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、延期します。

新たな試験日程等は決まり次第、改めてご案内します。

## ■試験予定区分

事務職	技術職(土木)(職務経験者対象)
事務職(職務経験者対象)	幼稚園教諭・保育士・保育教諭
事務職(就職氷河期世代対象)	保健師
学芸員(事務職兼務)	障害者対象【事務職、学芸員(事務職兼務)、技術職(土木・建築)、幼稚園教諭・保育士・保育教諭、保健師】
技術職(土木・建築)	

〒722-8501 久保一丁目15-1 尾道市職員課内 尾道市試験委員会 ☎0848-38-9342

HP <http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/>

## みんなで取り組もう! イノシシの近づきにくい環境づくり



古くから十二支の一つとして数えられ、なじみの深い「イノシシ」。近年、山間部から島しょ部までの市内全域で、イノシシによる多くの被害が発生しています。

まずはイノシシのことをよく理解することで、効果的な対策を講じることができます。今回はイノシシの生態についてご紹介します。

### ◎どこに住んでいるの?

もともと人里からあまり離れていない里山に生息しています。特に草むら、やぶを好んで利用し、茂みや耕作放棄地の中に「寝屋」があります。主に通り慣れた「けもの道」を移動します。

### ◎何を食べているの?

味が濃厚で甘味の強いものが好物です。雑食性で芋や栗、筍、イネ、昆虫の幼虫、ネズミ、ヘビなど何でも食べ、農作物への被害は一年中見られます。

### ◎人間を恐れないの?

本来は臆病で注意深く、なかなか人前に姿を現しません。昼夜を問わず活動しますが、人間を警戒しているときは日没から行動を始めます。

学習能力が高く人間の動きを観察する賢さがあり、いったん慣れてしまうと頻りに耕作地や住宅地に出没するようになります。

基本的におとなしい性格で、他の動物を襲うことはありませんが、身の危険を感じたりパニックになって逆上したりしたときは「猪突猛進」となるため、注意が必要です。

### ◎身体能力が高そう

跳躍力に優れ、助走なしで1m、よじ登れば2mの高さを乗り越えます。20cmのすき間をくぐり抜ける柔軟さや、重さ70kgの岩を持ち上げる力も持っています。



次回はイノシシの近づきにくい環境づくりと対策についてご紹介します。

農林水産課 ☎0848-38-9473



フィールドワーク(原田町)の様子

## あなたの「やってみたい」を応援します! 若者チャレンジ講座

若者チャレンジ講座は、尾道市内でやりたいことを実現するためにプランを少しずつ磨くことを目的とした講座で、おのみち市民大学講座連携企画として6年目を迎えました。まちづくりへの参加意識を高めるとともに、一人ひとりの想いを共有し形にしていく場を通して、年齢・経験を問わず幅広く、まちづくりに関わる人材の発掘や育成、ネットワークづくりも兼ねています。

### やりたい理由をひも解く

講座は5回の連続方式で開催し、6回目に受講生による発表会を行います。プランを持つ受講生とは別に、各講座で一般聴講生を募集しており、地域で活動する人材を求めている人や今後活動を考えている人への情報提供の場ともなっています。講座は、講師による講義形式だけでなくグループワークを中心として、プランの発表や聴講生も含めた意見交換も行っています。また、開講期間中には交流会やフィールドワークも行い、地域のニーズや課題と自身のプラン内容を結び付けたり、実際に活動している先輩の話聞いてプラン実現のヒントを得たりすることもあります。



昨年の第1回は、今までのできごと、興味のあること・放っておけないことなど自己紹介を兼ねて発表し、まずはお互いを知ることから始まりました。

### やりたいプランを整理する

最初からやりたいことがはっきりしている人もいれば、そうでない人もいます。グループワークを通して、プランがより具体的になったり、聴講生を含めたいろいろな人の意見を聞くことで新たなプランになったりときまぎまぎです。

また、公民館が中心となって実施しているまちづくり講座に講師とともに参加し、まちづくり講座の参加者と一緒になって地域づくりについて考える回もありました。地域の人とグループワークをする中で、地域が必要としていること、自分たちができることは何かを考え、地域課題の解決に向けたプランに…との想いが生まれました。最終発表会では、最初に思い描いていたプランの実現に向けて動き出している人や、ちょっと違うプランになった人、それぞれの半年間の取組が発表されました。最終的にプランとしてまとまらなくても、この講座をきっかけとして地域のことを知り、自分が興味あることを地域課題の解決に紐づけていく過程は、きっとこれからの地域づくりの礎となるでしょう。過去の受講生の中には、プランをもとに起業した人やNPOを立ち上げ子ども食堂の運営に携わっている人、地域の課題解決のために、地域の人たちとともに活動を行っている人などがいます。また、平成30年に発生した西日本豪雨災害時には、受講生やOB・OGが自主的にそれぞれの地域の情報を交換し、協力し合うなど、つながりも生まれています。

今年度も開催予定です。何かやってみたい、けど何かから始めたらいいかわからない。そんな人はまず聴講してみませんか? 受講生の発表が刺激となって、あなたの活動につながるかもしれません。

政策企画課 ☎0848-38-9435

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。 日時・期間 場所 対象 内容 定員 料金 持ち参物 電子メール HP ホームページ

くらしの窓 健康・福祉 子育て スポーツ 芸術・文化 情報アラカルト 相談